



連携パスだより～がん地域連携パス編～ NO. 3



新年あけましておめでとうございます。旧年中はがん連携パスへのご理解とご協力を賜い、厚くお礼申し上げます。がん連携パス運用開始になり、はや、1.5年を経過しました。診療経過表のスケジュールに沿って、半年毎の拠点病院受診が3回目になる方も多くなりつつあります。

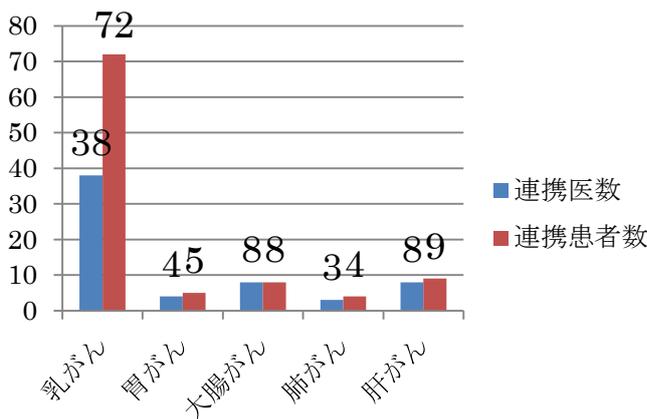
それと共に、連携医の先生から「どうなっているの?」「やっぱりわかりにくいよ」と、不十分な点をご指摘いただき、私どもの説明を見直しております。また、遠くは、鳥取県や広島県の県境方面でも連携して頂くようになり、患者さんは「近くで診てもらえてよかった」と、この連携を前向きとらえて下さる意見が多いように思います。がん連携パスが徐々に定着する実感を持っています。これもひとえに連携医の先生のご理解ご協力のおかげと思っております。

今年もより良い地域連携ができるよう役割を果たしたいと思っております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

連携パスを使用中のかかりつけ医に送付しております。地域連携課の看護師はこのように地域にむけての情報提供も行っています

当院の5大がんの進捗状況

がん地域連携パス連携医療機関数・連携患者数 (平成23年4月1日～平成24年12月末)



乳がんが連携数は多いですが、他のがん連携パスも少しずつではありますが連携数は増えてきております。

乳がんは、対象患者数が多いため、このような結果になったとも考えられます。

左記の図からもわかりますように連携医数より連携患者数が上回るようになりました。ひとりの連携医が複数の連携患者さんを診て下さることも多くなってきました。

乳がん地域連携パス勉強会を開催

去る12月13日当院において乳がん地域連携クリティカルパス勉強会を開催しました。内容は「乳がん連携パスの運用状況」「乳がんの視触診」「新規乳がん連携パス化学療法中・後」の紹介、「放射線治療後の副作用」などについて講師を当院乳腺外科医師を中心として行いました。

連携医を中心に約30名の方の参加がありました。このなかで連携についての質問もありました。たくさんの参加ありがとうございました。

連携医からのアンケート結果を

「クリティカルパス学会」で発表

昨年7月に乳がん地域連携パスの運用評価アンケートを登録医療機関対象として行いました。その結果(前号に掲載)を12月、岡山で行われた「第13回クリティカルパス学会」で報告させていただきました。

貴重なご意見
ありがとうございます
ございました。



コーディネーターよりあらためて、お願いしたいこと

紹介状持参のこと・当院受診時には紹介状をお願いしております。

連携医の「がん地域連携指導料」・ 前述の紹介状送付時には「がん地域連携指導料」300点が

算定可能です。ただし、**算定外の方もあります。**連携依頼時に指導料が取れない方はお知らせしておりますので、ご注意ください。